

2018 年 6 月 18 日

関係各位

千代田化工建設株式会社
IR・広報・CSR 部**インドネシア向けオフショア設備の Pre FEED(概念設計)業務の受注**

千代田化工建設株式会社(本社:横浜市、代表取締役社長:山東 理二、以下「当社」)は、インドネシア政府当局(SKK MIGAS)との生産分与契約の下、国際石油開発帝石株式会社が同社子会社インペックスマセラアラフラ海石油株式会社を通じてオペレーターを務めるインドネシア共和国アラフラ海マセラ鉱区アバディ LNG プロジェクトにおいて、グループ会社である千代田インターナショナルインドネシア社が、PT Synergy Engineering 社との共同事業体(コンソーシアム)にて SURF 設備^{*1}及び海底パイプライン設備の Pre-FEED 業務を受注しましたのでお知らせします。

本案件はインドネシアにおいて計画されている液化天然ガスプラントの新設計画に関わるもので、当該新設プラントへ原料ガスを供給するためのオフショアガス田開発の内、海底・海中設備に関わる Pre-FEED 業務となります。

本業務の遂行にあたっては、本分野において豊富な経験を有する当社持分法適用関連会社の Xodus Group (Holdings) Ltd.(以下「Xodus 社」)^{*2}、並びに Xodus 社株式を当社と共同保有し、オフショア分野の設計・調達・工事・据付(EPCI)分野における世界的なリーディング企業である Subsea7 社がエンジニアリングサブコントラクターとして参画し、それぞれの専門性を活かした業務遂行を行います。

当社グループは 2013 年の Xodus 社との資本業務提携以来、オフショア・アップストリーム分野での知見・実績の拡充に努め、アップストリーム～ダウンストリーム、オフショア～オンショアの幅広い統合サービスを提供して参りました。

これまでに培った知見を本案件でも十分に発揮すると共に、今後とも当社のプロジェクト遂行における強みと Xodus 社の有する開発初期段階からのコンサルティングサービス機能を活用し、顧客のガス油田開発・商業化計画において初期段階から参画し、より経済性の高い総合的なソリューションの提供を通じて、顧客の事業推進に貢献して参ります。

*1 SURF は、Subsea Umbilicals Risers and Flowlines の略。アンビリカル(umbilicals)は、海底坑口装置(水道の蛇口のような機能)を制御するための電力・油圧・信号ケーブル等から構成される複合ケーブルのこと。ライザー(risers)は、海底から生産される油層流体を洋上生産設備に受け入れ、生産設備で分離されたガスや水を海底に再注入するために使われる垂直方向のパイプのこと。フローライン(flowlines)は海底と生産設備をつなぐ水平方向のパイプ等の総称。

*2 当社持分 40%、Subsea7 社持分 60%の石油・ガス・再生可能エネルギーに関わるコンサルティング会社

以上

この件に関するお問い合わせ先 :IR・広報・CSR 部 塚本／横田
電話: 045-225-7734 FAX: 045-225-7748
URL: <https://www.chiyodacorp.com/jp/contact/index.php>